

鉄道総研は現在、2024年度までの基本計画－鉄道の未来を創る研究開発－RESEARCH 2025に基づいて研究開発などを進めています。その活動の基本方針として真っ先に書かれているのが「安全性の向上」です。今月号では「鉄道利用者の安全性向上」を特集として取り上げましたが、このように範囲を限定しても、多くの分野が関連する記事構成になりました。安全を実現するためには、実に多岐にわたる検討が必要なことが、読者のみなさまにもおわかりいただけたのではないかと思います。

さて、来月号の特集は「脱炭素社会に貢献する鉄道のエネルギー技術」です。わが国は2050年までに温室効果ガス（おもにCO₂）の排出量を実質的にゼロにすると宣言しているほか、今年4月には、2030年までに2013年比で46%以上削減するという目標も掲げられました。鉄道を全体としてみると、現時点ではエネルギー効率に優れた輸送機関といえますが、より一層の脱炭素化に向けた取り組みについて紹介します。ぜひご期待ください。(T. T.)